

学校単位での出品を行わない学校に在籍している児童生徒で希望がある場合は、本実施要領に基づき作品を御出品ください。

第55回「郷土を描く児童生徒美術展」実施要項

個人応募

1 趣旨 「郷土を描く児童生徒美術展」は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ろうとするものであり、「埼玉県芸術文化祭2020地域文化事業」及び「県民の日」記念事業の一環として行うものである。

2 主催 埼玉県校外教育協会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会
共催 さいたま市教育委員会 埼玉縣市町村教育委員会連合会 埼玉県美術教育連盟

3 実施日程

(1) 地区審査会

作品搬入期間：地区ごとに定める。 作品搬入場所：地区ごとに定める。

(2) 中央審査会

期 日 令和2年10月14日（水）

会 場 所沢市生涯学習推進センター（所沢市並木6-4-1）

(3) 表彰式（県民の日記念式典）

期 日 令和2年11月14日（土）

会 場 埼玉会館（さいたま市浦和区高砂3-1-4）

※応募作品のうち、優秀作品120点について「県民の日記念絵画コンクール」知事賞として表彰を行う。

(4) 第55回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展覧会

期 日 令和2年12月26日（土）～12月27日（日）

・公開時間 10:00～16:30（12月27日は15:30まで）

・知事賞作品（120点）を展示する。

※特選（知事賞を含む。）受賞者名簿は11月上旬に埼玉県校外教育協会のホームページに公開します。

※知事賞以外の特選作品及び入選作品は展示されません。

会 場 埼玉県立近代美術館（さいたま市浦和区常盤9-30-1）

4 参加資格及び応募点数

国公立小・中・義務教育学校・中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校小・中学部（国・市立）の児童生徒で1人1点とする。

5 作品及び氏名等の扱い

知事賞作品120点は、「画集 埼玉子どもの絵」及び埼玉県のホームページに、学校名・学年・氏名・「作者のことば」と共に掲載する。知事賞作品は展示された後、各学校を通して本人に返却する。

また、知事賞以外の特選受賞者の学校名・学年・氏名についても、上記画集及びホームページに掲載する。

6 題材及び表現の材料、大きさ等

(1) 出品作品は、教科の授業・クラブ活動・その他で、この展覧会の趣旨を生かし描かれたものとする。

(2) 出品作品の表現材料及び表現方法は、自由とする。（スケッチを含む。）

ただし、搬入時などに破損する可能性がある作品は除く。

(3) 作品の大きさはB判四つ切り以内とし、台紙はつけないこと。

ただし、和紙等の薄いものや小さい作品は、上記寸法の画用紙等に貼ってもよい。

7 表彰

優れた作品には、賞状を授与する。

(1) 表彰の区分

・知事賞：120点 ・特選：1,010点（知事賞を含む） ・入選：約10,000点

(2) 表彰状の授与

知事賞作品には「県民の日記念絵画コンクール」表彰状、特選作品及び入選作品には「郷土を描く児童生徒美術展」表彰状を授与する。

8 出品上の留意点

(1) 出品票及び出品表について（以下のページから様式を入手すること）

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/kougaikyoku/bijutsu-ten.html>)

ア 出品票は指定の様式により作成し、使用する。

イ 出品票は手書きでもパソコン作成でも可とする。

なお、パソコン作成の場合は、字体の変更ややむを得ない場合以外のフォントサイズの変更を行わないこと。手書きの場合は、フェルトペン等を使い、見やすいように作成する。

ウ 出品票は作品裏面右下に貼る。

エ 出品票の「学校」欄は「【市町村名】・【学校名】+小（中、義、中教）」と記載する。

（例 「さいたま・〇〇小」「川口・〇〇中」）

オ 氏名は楷書で丁寧に記入し、必ずふりがなをつける。入選者名簿の基礎資料となるので、略字等を使わず記入する。

カ 題名（画題）は固有名詞を入れるなど、具体的に記入する。

キ 地区は次の中から当該地区名等を記入する（市町村名と地区名の一覧を参照すること）。

さいたま・北足立南・北足立北・入間・比企・秩父・児玉・大里・北埼玉・埼玉葛・私立/県立

ク 出品表は、指定の様式により作成する。

(2) 以下に題材として考えられるものを例示するが、これにこだわることなく対象を幅広く求めて差し支えない。

内 容	題 材 例	題 名 例
1 郷土の自然や動植物	○武甲山を見ていたら ○利根川の土手に行ったら季節の音が聞こえるよ ○シラコバトの家族は、どんなお話をしているのかな ○狭山湖で春を探そう ○サクラソウの思い出	○「私の好きな武甲山のこの一瞬」 ○「夢一杯！ 利根川の土手」 ○「シラコバトさんのたからもの」 ○「光と風が創る狭山湖」 ○「空一面にサクラソウのパラシュート」
2 郷土の生活	○県民の日のこと ○藤棚の下で遊んだよ ○農家の軒下で ○ビル街のできごと	○「私の県民の日」 ○「紫色の花びらが、きれいだった」 ○「土のおいが、伝わってくる」 ○「ビルが、せいくらべしているよ！」
3 郷土の産業	○イチゴ畑のイチゴの話 ○茶摘みのお手伝い ○牛乳しぼり	○「イチゴさんのお昼ね」 ○「ほら、こんなにたくさんつんだよ」 ○「牛さんの顔、とても気持ちよさそう」
4 郷土の歴史	○五百羅漢の会話 ○山車を引いたよ ○さきたま古墳と出土品	○「いろいろな表情しているね」 ○「よいしょ！ よいしょ！ あせびっしょりだよ」 ○「昔の人の生活を考えてみたら」
5 未来の埼玉	○2050年の埼玉 ○発展する郷土埼玉 ○自然と人工物の調和	○「こんな街に住みたいな」 ○「まるで宇宙都市のようだ」 ○「夢のような学校で」

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、審査会、展覧会等を中止とする可能性があります。